

平成26年度 学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策 世田谷区立富士中学校

世田谷区立富士中学校 校長 小松 昌之
学校関係者評価委員会 委員長 渡邊 真弓

平成20年度より学校関係者評価というシステムになり、今年で7年目になりました。保護者・生徒・地域の方からいただいた「関係者アンケート調査の集計結果」と、教職員による「自己評価報告書」及び「学校関係者評価委員会の報告と学校の改善策」は、例年どおり3月中に富士中のホームページ上で公開いたします。過去の報告もあわせて御覧いただき、今までされた数々の提言と回答等も確認していただければ幸いです。ここでは次年度に生かせるような包括的な報告と提言をさせていただきます。どうぞ、よくお目通しいただき、富士中の更なる発展のために御支援・御協力をお願いいたします。

学校関係者評価委員会の報告 (回答を求めた項目)

学校の改善策

—学校関係者評価アンケートと自己評価報告書の分析の中から—

I 重点目標について

富士中では、今年度の重点目標として「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」「生活指導の充実に努め、豊かな人間性を育む」「地域教育基盤の確立と開かれた学校づくりをとおして、思いやりの心と地域への感謝の心を育成する」の3点を挙げ、それぞれに数値目標を設定しています。今年度、「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」だけは、教員の休職にともなう子どもたちの戸惑いや、保護者の不安から、昨年度より数値が下がったのではないかと思います。具体的な対策を講じ、結果に結び付けるための更なる努力が必要です。他2点の項目につきましては、ほぼ数値目標をクリアしています。

学校評価を踏まえて設定した重点目標のうち、「教育の質の向上を図り、確かな学力を育成する」については、数値目標において課題を残しました。保護者や生徒の学力向上に対する関心や期待は高いので、確かな学力を育成するためには、教育の質の向上と量の確保が欠かすことのできない要因であり、質の向上を図るためには、授業力向上は不可欠です。研究授業を実施することにより、全教員で検証し、指導方法の工夫・改善に取り組みます。

保護者や地域の方々が、教育活動への理解を一層深めていただくとともに、協力や支援を受けながら、教育活動の更なる充実に向けた取組の工夫と改善に努めます。

II 地域とともに子どもを育てる教育について

地域運営学校に指定されて6年目になりました。クリーン作戦、避難所運営訓練、古着回収、グリーンアカデミー、挨拶運動や代沢地区文化スポーツ交流会等の地域活動・ボランティア活動をとおして、地域との交流を図っています。また「富士の学び舎」の教育活動は、小学校5校と富士中とで作られた世田谷9年教育にのっとり、小中連携も計画的に行われています。それらの活動は継続され、安定していますが、引き続き、地域とともに「豊かな人間性を育む」ことを目指した取り組みに期待します。

地域運営学校として、保護者・地域の方々の学校教育に対する声を反映させながら学校運営を推進します。また、義務教育の9年間で育てたい力・資質の実現に向けた取組を充実させ発展させるために、地域の人材及び教育力活用の工夫にさらに努めます。併せて、学校協議会や地区委員会、諸便りなどをとおして、保護者・地域の方々に学校への理解をより一層深めていただき、御支援と御協力をいただきながら教育活動を推進します。

<p>Ⅲ 未来を担う子供を育てる教育について</p> <p>富士中は学習の「質と量」を常に大切にしています。質としては、国語・数学・英語における「少人数習熟度別授業」の実施、全教員による授業研究・指導方法の工夫に取り組んでいます。併せて各教科において「ICT活用授業」の推進を図っています。量としては、授業時数の確保に努めています。さらに、放課後学習・夏季補習教室や富士サタスタ、区土曜講習会・朝授業(3年生)等も定着しています。また、職場体験学習は、人と協調しつつ、自立的に社会生活を送るために必要な「人間としての実践力や生きる力を育む」重要な学びの場と考えます。さらに、今年度、富士中では「いじめ防止プロジェクト」が1年生を対象に、5回にわたり実施されました。重点目標である「確かな学力を育成する」ことや「豊かな人間性を育む」こと、これら「質と量」を大切にする取り組みは、今後も維持に努めてください。</p>	<p>本校では、「教育の質の向上」と「教育の量の確保」に努め、具現化に向けた様々な取組は本校の特色になっています。今後も、個に応じたきめ細やかな指導を一層充実させ、基礎・基本や自ら学び考える力を身に付けさせるための指導を充実させます。</p> <p>生徒にとってよりよい学校生活を送ることができるように、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、より良い人間関係の構築等を目標とした指導に、今後も組織的に取り組みます。また、自他の生命を尊重する心やすべての人への思いやりの心を育てる人権教育の充実にも努めます。</p>
<p>Ⅳ 信頼と誇りのもてる学校づくりについて</p> <p>学校経営方針に示された目標が、教職員には浸透しているものの、保護者・地域においては学校の運営評価は昨年度より全体的に下がりました。スクールカウンセラーの認知度も少し下がりました。今年度から1年生全員に対し、スクールカウンセラーと面談が実施されました。また「富士中だより」には、毎回、スクールカウンセラーからのお知らせなど、いろいろな情報が詳しく載っています。保護者・地域の皆様には再度お読み返しいただきたいと思います。ゲストティーチャーの講義は毎年工夫されており、進路指導やキャリア教育とともに多面的な成長に欠かせない刺激を与えてくれています。学校運営の今後の取り組みに、より一層の努力をお願いします。</p>	<p>学校に対する保護者や地域の願いを理解し、学校経営方針に基づいた教育活動の推進に継続して取り組むとともに、保護者・地域にも浸透するように情報を幅広く発信するように努めます。また、個に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、スクールカウンセラーや関係機関と連携した指導をより一層充実させます。</p> <p>ゲストティーチャーをさらに活用することにより、生徒が自己の将来に見通しを持ちながら学校生活に臨み、自己実現に向けて意欲的に取り組むことができるようにするための指導の工夫に取り組みます。</p>
<p>Ⅴ 教育環境の整備について</p> <p>昨年度、老朽化した冷水器5機のうち4機が新しくなりましたが、そのうちの1機の冷水器と排水管のつなぎ目から、悪臭がしているという指摘がありました。体育館棟トイレの悪臭対策も含め、改修、改善をお願いします。また、未設置の教室へのエアコン設置など、環境改善を御検討ください。</p>	<p>冷水器と配水管のつなぎ目からの悪臭については、新年度当初に、区と連携を図りながら改善に取り組めます。また、体育館棟トイレの悪臭の原因の一つであった汚水槽のつまりについては、昨年の10月に改善しました。</p> <p>区や保護者の方々の御理解のもと、整備を進めてきましたが、さらなる教育環境の整備に向けて、今後も、区との連携を図りながら継続的な改善に取り組めます。</p>

Ⅵ 学校生活全般について

肯定的な意見が生徒・保護者ともに８０％程度を維持しているものの、昨年度より、全体的にややマイナスの数値がみられました。生徒のアンケート結果は、生活指導・進路指導については年々プラスの傾向になっています。保護者の結果は、多岐にわたりマイナス数値がありました。アンケートの自由意見欄にも、生徒・保護者から多様な意見が寄せられています。その期待に応えられるように、生徒一人ひとりが落ち着いた環境を生かし、学習や学校生活に取り組み、自己を成長させる活動に全力で臨める、学校づくりをお願いします。

教育計画に沿った教育活動を円滑に進めるために、様々な工夫をしています。これからも、生徒・保護者・地域の方々に教育計画の内容を正しく認識していただくための説明を継続し、理解を得ながら教育活動を進めるように配慮いたします。

一人ひとりの生徒が、教育活動の様々な場面で自己のもつ能力を十分に発揮しながら成長していけるように、個に応じたきめ細やかな指導を組織的に実践するための取組を継続させます。

—学校関係者評価委員会の総合所見—

Ⅶ 学校評価委員会の総合所見

評価委員会としては、まず先生方の日常の努力に感謝いたします。

- 1 教職員による自己評価報告書を見ると、内容も具体的です。学校が地域の学校として意欲的に取り組んでいることが分かります。
- 2 セーフティー教室や情報モラルの授業に関しては、生徒・保護者・地域とも８５％以上の評価を得ています。しかし、定期的に行われている安全指導や避難訓練、地域との連携による避難所運営訓練、災害時対応などの保護者への情報提供、校内現況や衛生面など、学校の安全性に対しての数値が、全体的にマイナスの評価になりました。保護者・地域の方々とともに、安心・安全な学校づくりへ更なる努力と、密な連携をお願いします。
- 3 生徒たちは富士中が好きで誇りをもっており、楽しく学校生活を送っていることが分かりますが、何のために勉強するのか分からなくなる悩みの多い年頃でもあります。今年度は、全体的に数値が下がりました。生徒たちにとって最大の教育環境は教師自身の姿そのものであり、人間としての豊かさや広い分野での教養を求められると思います。学習面でも「質と量の確保」をこれからも続けていただくとともに、生徒たちと向き合う時間の確保にも尽力をお願いしたいと思います。また、各御家庭・地域の皆様におかれましても、手本となる良き家庭環境・地域環境として温かく子どもたちを見守っていただきたいと思います。
- 4 保護者による「さよなら、声かけ当番」は、今年で１５年になりました。わが子だけではなく、地域の子どもの様子を知る良い機会となっています。「子どもたちを見守る」この素晴らしい取り組みを、ぜひ継続していただきたいと思います。
- 5 今年度も、夏の部活動合宿は長野県で無事実施することができました。校長先生、顧問、外部指導員、看護師をはじめ、支えてくださいました関係者の皆様に感謝いたします。
- 6 学校を取り巻くいろいろな環境が、年々、整備かつ改善されていることを評価いたします。なお、継続する課題につきましては、引き続き検討をお願いします。

学校関係者評価委員会

委員長	渡邊 真弓
委員	黒木 美枝
委員	須藤 啓子
委員	長塚 千佐子
委員	横光 香里
委員	矢野 明子
委員	丸田 大